

質 問 回 答

2016年1月12日

「(案件名)北米・中南米地域中米地域物流ロジスティックスにかかる情報収集・確認調査」(公示日:2016年1月6日/公示番号:151114)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P4 (5) 中米地域物流・ロジスティックス政策枠組みを踏まえた調査の実施	「IDB や ECLAC との連携を密にする」とありますが、調査団が米国を訪問し、政策枠組みの内容確認や調整することを想定されているのでしょうか。	米国への訪問は不要です。政策枠組みに関する内容確認は既存資料を用いて行うことを想定しています。なお、本調査を通じて政策枠組みへの提言や調整などの業務は想定していません。
2	P6 (10) 中米地域・物流・ロジスティックス政策枠組みを推進するための課題の整理・分析	第2次/第4次現地調査では、CTRML関係者10名以外に関係機関から参加者がいる場合には、その費用も含めて見積りに含めるとの理解でよろしいでしょうか。	現段階で想定しているワークショップ参加予定者の参加に係る経費は、業務指示書に記載したとおり、CTRML関係者10名のみを対象として見積ってください。この10名以外の他の関係機関からの参加者にかかる経費の見積りは不要です。
3	P7 (13) 上記(12)を踏まえ、必要な物流調査の実施	(12)の第三次現地調査を行っていない現段階で物流調査の内容や作業量はどのように想定すればよろしいでしょうか。	業務指示書で提示したフェーズ2の業務量の目途(21.6MM)を踏まえて、既存の情報や応募者の知見等をもとに調査内容をプロポーザルで提案してください。

以 上